



まつやま

市議会だより

2012 No. 297 平成24年5月15日

編集・発行／松山市議会 ☎(089)948-6652 ホームページアドレス <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/kakukaichiran/shigikai/shigikai.html>



平成24年2月3日に松山子ども市議会が開催されました（4面に関連記事）

平成24年 第1回定例会

平成24年度当初予算

3622億3552万円を

原案可決

平成24年第1回定例会が、2月23日から26日間にわたって開催され、3月19日に閉会しました。

開会日には、市長から所信表明及び予算案等の提案説明が行われ、提出された議案及び市政全般について、3月2・5日には6人の議員が代表質問を、6・7・8日には13人の議員が一般質問を行いました。ついで、9・12・13日には6常任委員会

が、14日には水資源対策特別委員会が開かれ、本会議で付託された議案や請願などについて、詳細に審査を行いました。

その結果、議案69件をいずれも原案のとおり可決あるいは同意しました。また、意見書案2件、決議案1件については原案可決、さらに請願7件については、継続審査4件、審査未了3件の議決結果となりました。

平成24年第2回定例会の開催日程(予定)

第2回定例会は、6月14日(木)から7月3日(火)まで開催される予定です。
なお、6月25日(月)は休会日ですが、一般質問日となることもあります。
正式な日程は、6月7日(木)開催予定の議会運営委員会で決定します。
☆質問議員名は、6月13日(水)の議会ホームページ「定例会の日程」に掲載します。

6月14日(木)	本会議 (開会、提案説明)
6月20日(水)	本会議 (一般質問)
6月21日(木)	本会議 (一般質問)
6月22日(金)	本会議 (一般質問)
6月26日(火)	委員会 (文教消防・都市企業)
6月27日(水)	委員会 (市民福祉・産業経済)
6月28日(木)	委員会 (環境下水・総務理財)
7月 3日(火)	本会議 (表決、閉会)

※時間はいずれも午前10時から(予定)

可決された主な議案

予算

本会議の審議を経て原案可決された平成24年度当初予算の主な事業は次のとおりです。

ことばのちからイベント

15回目を迎える「俳句甲子園」の記念事業など、ことばを活かしたソフト事業を実施し、ことばが息づく、ことばを大切にすまちなちであることを全国発信します。さらに、「だから、ことば大募集」で集まったことばを様々な場所に展示し、ことばのミュージアムを展開します。

企業防災力の強化

地域防災における企業防災力の強化を目的として、市内の事業所を対象に実技訓練を組み入れた講習を実施し、企業防災リーダーの育成を図ります。

地域交流センターグラウンドの芝生化

地域に交流の輪を広げるとともに、子どもたちの豊かな感性の醸成に資するため、23年8月に供用開始した地域交流センターグラウンドの芝生化を行います。

クリーンエネルギーの導入促進

太陽光発電システムや太陽熱利用システム、家庭用燃料電池等の設置費用の一部を助成することで、日照時間が長い本市の特徴に適した再生可能エネルギーの普及促進を図り、地球温暖化対策を推進します。

歩いて楽しい健康増進まちづくり

花園町通りで、歩行者や自転車などの「遅い交通」の評価を行い、景観を含む一体的な空間改変に向けた社会実験を行います。道後地区ではエコーカーや電動アシストサイクル等様々な交通手段を提供する施設の設置に向け社会実験を行います。

瀬戸内・松山の魅力を創出

スペインドラマ放送終了後も継続して安定的な観光客獲得を図るため、官民一体となって、対岸の広島地域との連携を図りながら、瀬戸内海をテーマとした新たな周遊型観光商品の展開・広報PRを行います。

意見書

北朝鮮による拉致問題の早期解決に向けた積極的で強力な行動を求める意見書

すべての拉致被害者の早期帰国を実現するため、北朝鮮政府に対し、拉致被害者の再調査を強く求めるとともに、北朝鮮による人権の侵害を一層広く世界に訴え、強固な国際連携の下に、拉致問題の全面解決に向け全力で取り組むよう国に強く要望する。

こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書

こころの健康危機を克服し、安心して生活ができる社会を実現するためには、こころの健康を国の重要施策と位置づけ、総合的で長期的な施策を実行することが必要である。よって、すべての国民を対象とした、こころの健康についての総合的で長期的な政策を保障する「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を強く求める。

決議

国旗掲揚と国歌斉唱に関する決議

日本人の心が一つとなり、自国の国旗、国歌を敬愛し、誇りに思うことは、郷土を愛する意識の高揚に資するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことにもつながる。松山市議会は、国民の国を愛する意識の涵養に資するよう、市、教育委員会、その他の機関における公の式典について国旗掲揚、国歌斉唱が行われるよう求める。